

安全報告書 2014

この報告書は、長良川鉄道における鉄道輸送の安全確保を図る目的のために実施した結果等について公表するものです。

取組み等について、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

お問合せ先

郵便番号 501-3881
住 所 岐阜県関市元重町7 4 番地 1
電 話 0575-23-3921
F A X 0575-23-3927
メールアドレス soumu@nagtetsu.co.jp



平成26年7月1日

長良川鉄道株式会社

安全報告書

【はじめに】

日頃は、長良川鉄道のご利用とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様が利用しやすい・高齢弱者にやさしい・地元可愛される「市民鉄道」をめざし取り組んでまいります。

経営理念の第一に安全輸送を掲げ、法令を遵守するとともに、安心・安全な鉄道輸送を引き続き心がけてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解頂くために公表するものです。

長良川鉄道（株） 代表取締役社長 日置 敏明

1. 基本方針と安全目標

【基本方針】

社長及び社員は、経営理念の第一は、安全輸送である。このことを十分認識し事業活動を行い輸送の安全を確保する。

社長、役員及び社員等の安全に係る規範は、次のとおりとする。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努める。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、忠実に職務を遂行する。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いに努める。
- (5) 事故・災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置に努める。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に努める。

【安全目標】

長良川鉄道では、鉄道運転事故のゼロを目指して取り組んでまいります。

平成25年度強調項目

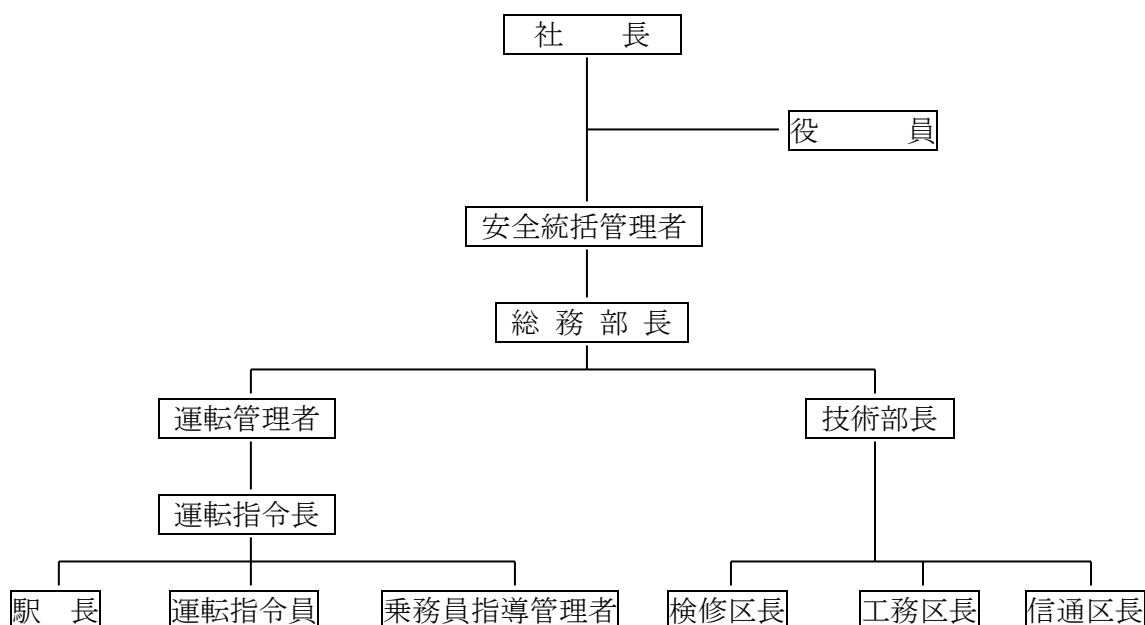
- (1) 運転 意識した指差確認喚呼
- (2) 技術 個々のスキルアップで総合力向上
- (3) 営業 全員参加による増収活動

安全重点施策（2011年～2015年）

項 目	内 容
事故防止	法令遵守・基本動作の励行 マニュアル類の継続的な見直し 安全設備の整備
教育訓練	技術継承・運転士育成 知識・技能の向上 マニュアル類の継続的な見直し
事故・災害等異常時対応	想定訓練の実施 マニュアル類の継続的な見直し・整備

2. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の職務(責務)を明確にしています。



【責任者の役割】

- 社 長 : 社長は、輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- 安全統括管理者 : 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- 総 務 部 長 : 輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。
- 運 転 管 理 者 : 安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
- 乗務員指導管理者 : 運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
- 技 術 部 長 : 安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設、車両に関する事項を統括する

3. 事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

平成19年5月9日から運転無事故を継続しています。

(2) 踏切障害事故

平成25年度において踏切障害事故の発生はありませんでした。

過去5ヶ年の踏切障害事故件数は以下のとおりです。

年 度	2009	2010	2011	2012	2013
事故件数	5	6	1	4	0
死傷者	3	5	0	1	0
うち死亡者	1	3	0	0	0

(3) 輸送障害 (30分以上の遅延や運休)

設備・車両の故障等による輸送障害 8件

降雨・台風・地震による運転規制等自然災害 5件

(4) インシデント(事故の兆候)

平成25年度において、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(5) 行政指導等

平成25年度において、国土交通省からの指示・勧告の指導はありません。

4. 安全確保のための措置

長良川鉄道では、輸送の安全を確保するために、国、県及び沿線市町の支援による、鉄道軌道輸送対策補助事業、鉄道施設安全対策事業、地方鉄道再生計画支

援事業費補助を活用し、設備等の更新、改良に取り組んでいます。

(1) 鉄道軌道輸送対策補助事業

計画安全事業	〔レール重軌条化〕母野～木尾間
	事業費 49,967 千円
計画安全事業	〔ホーム嵩上げ〕母野駅
	事業費 1,670 千円
計画安全事業	〔通信線の改良更新〕山田～徳永間他
	事業費 17,500 千円
計画安全事業	〔車両重要部検査〕ナガラ 307・503 号車
	事業費 7,352 千円
計画安全事業	〔車両車輪交換〕ナガラ 201 号車
	事業費 4,600 千円



施工前)
母野駅

(施工後)
母野駅
レール重軌条化
ホーム嵩上げ



○レールの敷設状況

レール種別	開業時の状況	平成 25 年度末の状況	敷設割合
50 kg	21,396m	48,275m	64.9%
40 kg	77m	4,042m	5.4%
37 kg	7,968m	1,440m	2.0%
30 kg	44,959m	20,643m	27.7%
合 計	74,400m	74,400m	100.0%

○コンクリートマクラギ化

敷設実績 敷設本数 25,566 本 敷設延長 19,993m 敷設率 27.7^{パーセント}

長良川鉄道では、平成 4 年度から、保安度の向上(安全性)と保守作業の軽減を目的として、木マクラギからコンクリートマクラギに取替えを行っています。

○踏切改良実績

	第1種	第3種	第4種	合 計	廃止踏切
開業時	54	31	67	152	
平成 25 年度末	89	17	33	139	13

(2) 鉄道施設安全対策事業

緊急老朽化対策事業 [橋梁改修] 母野橋梁他 2 橋梁
事業費 30,290 千円

緊急老朽化対策事業 [トンネル改修] 地蔵トンネル他 1 トンネル
事業費 89,700 千円

緊急老朽化対策事業 [落石防護設備改修] 梅山～湯の洞温泉口間他 1 ヶ所
事業費 18,720 千円

橋梁塗裝 (施工前)



(施工後)



落石防護柵 (施工前)



(施工後)



落石防護網 (施工前)



(施工後)



(3) 地方鉄道再生計画支援事業費補助事業

平成 16 年度から、県・沿線市町のご支援により修繕費を負担して頂いています。
平成 25 年度は、修繕費総額 60,557 千円で施設の維持・保守を実施しています。
平成 25 年度の修繕内訳は以下のとおりです。

- ※ 線路修繕費 24,162 千円
各種マクラギの取替え(並・橋・分岐マクラギ)
軌道整備・線路除草等
- ※ 電路修繕費 16,107 千円
ケーブルの取替え・列車無線の法定検査・踏切保安装置補修等
- ※ 車両修繕費 20,288 千円
重要部検査よる、エンジン整備・コンバーター整備等 …… 法定検査

(4) 社員教育・人材育成

長良川鉄道では、社員の技術・技能の向上のため、各部門とも年 4 回の業務研修会を開催しています。

運輸部門

第一四半期	5/29～31	実設訓練 伝令法の実施
第二四半期	7/26～28	実設訓練 車両故障応急措置・非常事故訓練
第三四半期	11/26～28	実設訓練 非常事故訓練
第四四半期	2/25～27	知識確認テスト・指導通信式訓練

技術部門

第一四半期	5/30	伝令法実設訓練
第二四半期	7/25	事業決算・危機管理について
第三四半期	12/5	冬期対策(MC ラッセル取扱訓練)
第四四半期	3/19	分岐器講習

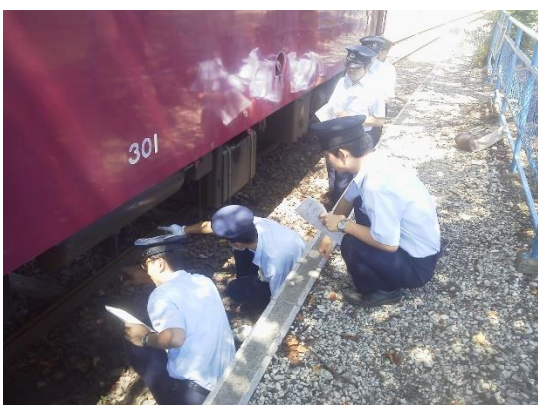
- ※ 中部鉄道協会主催の土木・電気・車両講習を受講
- ※ 技術部検修区においては、故障事例に基づき勉強会を実施

訓練風景

トンダレールの測定講習（技術部）



車両故障応急処置訓練（運輸部）



5. 長良川鉄道からのお礼とお願い

- (1) 沿線協力会、住民の皆様には日頃から、草刈作業等ご協力していただきありがとうございます。
- (2) **踏切を渡るときは必ず一旦停止し左右の安全を確認してください。**
長良川鉄道には139か所踏切があり、そのうち4種踏切が33か所あります。
平成25年度、踏切事故発生はありませんでした。
皆様のご協力に感謝いたします。